

## 令和2年度 第1回太宰府市障害者施策推進協議会 議事録（要約）

### ○日時

令和2年7月31日（金）19：00～20：00

### ○場所

太宰府市役所4階大会議室

### ○協議事項

議題1 第5次太宰府市障がい者プランの策定について

- ・アンケート調査結果について（報告）

議題2 太宰府市障がい福祉計画（第6期）及び障がい児福祉計画（第2期）の策定について

- ・国の基本指針について（概要説明）

### ○内容

#### ■事務局あいさつ

#### ■事務局自己紹介

#### ■傍聴人無しの報告

#### ■配布資料の確認

#### ■議事

「太宰府市障害者施策推進協議会規則」第6条に基づき、議事進行を会長が行う。

### 議題1 「第5次太宰府市障がい者プランの策定について」

（事務局）

アンケート調査結果を説明

※資料：障がいのある人の生活や施策に関するアンケート結果報告書」

#### 質疑

#### ●アンケート調査結果の回答者について

（委員）

報告書4頁、本人回答が6割となっているが、障害種別の内訳はわかりますか。回答者の6割が本人ということは、ご本人の気持ちが反映されていると思っておりますが、3～4割はご家族の気持ちなどが反映されている部分があるのかなと思います。代わりの方が回答されていますので、ご自身が回答しにくかった障害種別については、ご家族の視点が入っている点もあるかもしれません。

(事務局)

ただ今データを持ち合わせておりませんので、後日回答させていただきます。

(委員)

17 頁の中で突出しているのは、「将来的に生活する住まい、または施設があるかどうか不安」で3 障害いずれも高くなっています。

また、障害をお持ちの人ご本人の相談相手についてみると、「家族や親戚」が最も多く、ご家族の負担がかなり大きいと推測されます。精神障害をお持ちの人を長年支援していますが、ご家族からは、「この子を残して・・・」という言葉をよく聞くところであり、家族自身も悩みを抱えています。障害のある人本人の相談支援も大切ですが、介助の負担の大きいご家族を対象とした相談も重視していく必要があると考えております。

アンケートの自由記述では、「市役所の方が優しくなった」「窓口が良くなった」といった声も出ています。相談先の割合については、「病院」が特に精神障害、身体障害で高いほか、次いで「友人・知人」、そして「市役所」です。行政機関の相談先の中では、高い割合を占めています。

障害について悩み、困ってしまいやすいご家族を対象とした相談支援を強化すると、「将来への不安」の数値も改善するのではないかと思います。

(会長)

課題としてはまさに、おっしゃる通りだと思います。ご家族からの相談は、まだまだ少ないと思います。社会福祉協議会で、障害者の団体の皆さんと一緒に定期的に窓口を開設し、相談を受け付けていますが、年間の相談件数は決して多くありません。家族も含めた相談体制づくり、そして窓口の周知が必要です。

(委員)

アンケート、60%弱の方が回答されているが、回答できなかった方が問題です。相談できるのは、自分で問題意識がある人です。どう相談すればいいかわからない、相談する中身がわからないという人へのケアが大切になってきます。このアンケートに反映されていない人、手が届かない人への対策が必要です。人員、時間的にも難しいかもしれませんが、訪問等、アウトリーチによりアンケートの裏側に隠されている人たちが追跡できると見えてくるのかもしれない。

## 議題2 「太宰府市障がい福祉計画（第6期）及び障がい児福祉計画（第2期）の策定について」

(事務局)

国の基本指針の見直し内容を説明

※資料：障害福祉サービス等及び障害児通所支援等の円滑な実施を確保するための基本的な指針の一部改正について（通知）、第6期障害福祉計画及び第2期障害児福祉計画に係る基本指針の見直しについて

質疑

なし

■その他

今後の会議開催日程について

委員任期について

特別定額給付金未申請者について

太宰府市障害者活躍推進計画の紹介

議事進行終了

終了